

(3) 安全・安心まちづくり推進事業

市民部生活コミュニティ課

平成23年度 事務事業評価（外部評価）事業説明シート （平成22年度実施事業）

基本データ	事務事業名										担当部署						
	安全・安心まちづくり推進事業										部	市民部			課長	河野 久美	
											課	生活コミュニティ課			担当	小林 光吉	
											係	市民活動推進係			電話	内線2289	
	第4次総合基本計画における位置付け										実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	01	人が輝く（明るい地域社会の形成）								昭島市安全・安心まちづくり条例、昭島市安全・安心まちづくり広報車の貸出しに関する要綱						
大項目	02	市民の安全を守る（安全・安心の確保）															
中項目	02	防犯															
事業期間<開始・終了予定>										H 16 年度 ~ 年度							
予算科目（コード）		款	02	項	01	目	14	細目	004	細々目	01	H 16 年度 ~ 年度					
事務事業概要	目的																
	<対象は誰、何か>						<対象をどのような状態にすることを意図しているか>										
	市民						市民の生命、身体及び財産を守るため、防災、防犯等への取り組みを行い、子どもや高齢者、障害者等が安全で安心した生活の出来る地域社会を実現する。										
	事業実施方法																
	直接実施		業務委託（委託先：昭島市シルバー人材センター）														
	補助金（補助先：		） その他（登録団体によるパトロール）														
	内容																
	青色回転灯装備車両（青パト1号車）通常運行事業（平日13：00～17：00の4時間、市内全域のパトロール） 青色回転灯装備車両（青パト1号車）緊急雇用拡充運行事業（平日17：00～22：00の3時間、土・日・祝日の13：00～22：00の7時間、市内全域のパトロール） 青色回転灯装備車両（青パト2号車）貸出運行事業（登録している7団体へ貸出、団体の管轄区域をパトロール）																
	細事業（主な事業内訳）				平成22年度決算額				備考（細事業内容についての補足）								
	報酬：嘱託職員報酬				3,000 千円				1名（当該事業のほか、防犯協会事務も担当）								
共済費：嘱託職員社会保険料				421 千円													
旅費：費用弁償				106 千円				嘱託職員交通費									
需用費：消耗品費				213 千円				制服・タイヤ・マグネットシートほか事務用品									
需用費：燃料費				314 千円				青パト1号車・2号車ガス代									
需用費：車両修繕費				265 千円				車検・破損修理代ほか									
役務費：通信運搬費（電話料）				23 千円				青パト1号車委託用携帯電話									
役務費：保険料				200 千円				貸出青パト2号車用任意保険（車両保険含む）									
委託料：広報車運行及び啓発活動業務委託				1,918 千円				通常運行分									
委託料：広報車運行及び啓発活動業務委託				2,892 千円				緊急雇用創出事業を活用した拡充運行分									
公課費：自動車重量税				13 千円				車検時の自動車重量税									
				千円													
				千円													
				千円													
				千円													
				千円													
				千円													
				千円													
事業の必要性																	
青色回転灯装備車の防犯パトロールによる子どもや高齢者等の見守りなどが、犯罪の抑止へとつながっている。安全で安心したまちづくりを推進するには、市民1人1人への防犯意識の啓発が必要である。市と地域での連携による防犯パトロールは、各地域を見守ることができ、犯罪抑止とともに防犯意識の啓発のために必要である。																	
関連事業																	
昭島市安全・安心まちづくり条例に基づき必要な事項を協議するため、昭島市安全・安心まちづくり協議会(年1回開催)の設置。協議会のもとに推進連絡会(年4回開催)を設置。関係団体との連携を図っている。																	

平成23年度 事務事業評価（外部評価）事業説明シート （平成22年度実施事業）

コストと財源内訳	コスト									
			平成21年度決算		平成22年度決算		平成23年度予算			
	直接事業費		5,951 千円		9,365 千円		9,517 千円			
	報酬		千円		3,000 千円		3,000 千円			
	賃金		千円		千円		千円			
	報償費		千円		千円		千円			
	需用費		855 千円		792 千円		794 千円			
	役務費		268 千円		223 千円		201 千円			
	委託料		4,828 千円		4,810 千円		4,871 千円			
	使用料及び賃借料		千円		千円		千円			
負担金、補助及び交付金		千円		千円		千円				
扶助費		千円		千円		千円				
その他		0 千円		540 千円		651 千円				
人件費		3,720 千円		850 千円		850 千円				
一般職員		0.1 人	850 千円	0.1 人	850 千円	0.1 人	850 千円			
再任用職員		0.7 人	2,870 千円	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円			
総事業費		9,671 千円		10,215 千円		10,367 千円				
財源内訳										
		平成21年度決算		平成22年度決算		平成23年度予算				
国庫支出金		0 千円		0 千円		0 千円				
(内容)										
都支出金		3,222 千円		3,189 千円		3,240 千円				
(内容)		緊急雇用創出事業臨時特例補助金		緊急雇用創出事業臨時特例補助金		緊急雇用創出事業臨時特例補助金				
その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円				
(内容)										
一般財源		6,449 千円		7,026 千円		7,127 千円				
財源合計		9,671 千円		10,215 千円		10,367 千円				
事業の実績と成果	事業実績									
	活動指標		平成21年度（実績）		平成22年度（実績）		平成23年度（予定）			
	1号車通常分運行日数		236 日		237 日		240 日			
	1号車拡充分運行時間数		1,527 時間		1,513 時間		1,527 時間			
	2号車貸出件数		186 件		263 件		280 件			
	単位当たりコスト		円		円		円			
成果	昭島警察署管内の犯罪(刑法犯)件数(認知件数)の推移									
	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	
		2,218件	2,102件	2,172件	2,094件	2,021件	2,163件	2,020件	1,887件	1,759件
課題	現在、緊急雇用創出事業臨時特例補助金を活用して、青パト運行の拡充分（平日17:00～22:00の3時間及び土・日・祝日の13:00～22:00の7時間）について運行しているが、今後補助金が終了した時の対応が課題となる。一般財源を充当した現在と同様の運行の継続が望ましいが、運行時間帯の工夫、貸出車両運行地域との調整等の検討も必要である。また、貸出車両（青パト2号）については、現在7つの団体が登録し、各団体の管轄区域内を運行しているが、登録団体、利用件数の増加にしたいが、運行経費の増加や貸出用車両の増車が必要になってくる。									
自己評価	青色回転灯装備車両によるパトロールのほか、昭島市安全・安心まちづくり条例に基づき、推進協議会・推進連絡会による関係団体との連携、広報車の貸出による地域団体との協働、嘱託員の設置等を行っている。多様な団体と連携した安全安心まちづくり事業が展開されており、犯罪の抑止に効果がある。									
比較参考値	青色回転灯装備車による広報啓発事業は、三多摩各市において実施されている。また貸出車両を使って地域の防犯団体に貸出事業を行っている。									
備考	平成16年7月に施行された昭島市安全・安心まちづくり条例に基づき、平成18年に寄贈された青色回転灯装備広報車（青パト1号）の運行を開始した。その後、平成20年に新たに1台の寄贈を受け、青色回転灯装備広報車（青パト2号）の貸出しに関する取扱要綱を整備し、地域の防犯活動団体に提供している。									

平成23年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成22年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署												
	安全・安心まちづくり推進事業		部	市民部	課長	河野 久美									
			課	生活コミュニティ課	担当	内野 次夫									
			係	市民活動推進課係	電話	内線 2289									
	第4次総合基本計画における位置付け		実施根拠<法令、要綱等>												
事務事業概要	政策項目	01	人が輝く（明るい地域社会の形成）			昭島市安全・安心まちづくり									
	大項目	02	市民の安全を守る（安全・安心の確保）			条例ほか									
	中項目	02	防犯			事業期間<開始・終了予定>									
	予算科目（コード）	款	02	項	01	目	14	細目	004	細々目	01	H 16	年度	～	年度
	目的	<対象は誰、何か>					<対象をどのような状態にすることを意図しているか>								
市民		市民の生命、身体及び財産を守るため、防災、防犯等への取り組みを行い、子どもや高齢者、障害者等が安全で安心した生活のできる地域社会を実現する。													
内容		実績・成果													
昭島市安全・安心まちづくり条例に基づく、青色回転灯装備車両（青パト1号車）通常運行事業		青色回転灯装備車両（青パト1号車） ア 平成21年度総運行回数日 236日 イ 平成22年度総運行回数日 237日													
昭島市安全・安心まちづくり条例に基づく、青色回転灯装備車両（青パト1号車）緊急雇用拡充運行事業		青色回転灯装備車両（青パト1号車） ア 平成21年度貸出回数 186件 イ 平成22年度貸出回数 263件													
昭島市安全・安心まちづくり広報車の貸出しに関する要綱に基づく青色回転灯装備車(青パト2号車)貸出運行事業															
コスト		(単位)	平成21年度決算	平成22年度決算	平成23年度予算	備考<特財名称等>									
直接事業費		千円	5,951	8,944	8,994	緊急雇用創出事業 臨時特例補助金 平成22年度より安全・安心まちづくり推進事業内に嘱託員を配置しているため、人件費は事業費内に含む。									
財源内訳	国庫支出金	千円													
	都支出金	千円	3,222	3,189	3,240										
	地方債	千円													
	その他特定財源	千円													
一般財源	千円	2,729	5,755	5,754											
一般職員人件費		千円	850	850	850										
人工数		人	0.10	0.10	0.10										
再任用職員人件費		千円	2,870												
人工数		人	0.70												
総事業費		千円	9,671	9,794	9,844										
事務事業評価	個別評価（大いにある 5、概ねある 4、どちらかというところ 3、あまりない 2、ない 1）														
	必要性	5	<判断理由>			妥当性	5	<判断理由>							
	市民が望む「犯罪に遭遇しない安全で安心した地域社会」を構築するには、市民は勿論のこと、地方自治体による組織的な犯罪抑止力を構築することが重要である。犯罪のない地域社会を構築して行くためには、市民一人一人が防犯意識を高揚させることは勿論のこと、現在推進している青色回転灯装備車による防犯パトロールの継続運行が犯罪減少に結びつくものであり重要である。					市では、平成18年から寄贈された青色回転灯装備車（青パト1号車）の運行を委託契約先である社団法人シルバー人材センター職員により運行を開始した。平成20年からは、昭島市安全・安心まちづくり広報車の貸出しに関する取扱要綱に基づく貸出利用団体（市立武蔵野会館運営協議会ほか6団体）による運行を継続している。運行継続の結果、貸出利用団体や市民からは、青色回転灯装備車の運行継続の声が高く、犯罪のない安全で安心した地域社会の実現のためにも青色回転灯装備車の継続運行の存続が必要である。									
	有効性	5	<判断理由>			効率性	5	<判断理由>							
	犯罪が減少し市民の安全の抑止力や青少年の健全育成と地域の安全確保のためには、保有する青色回転灯装備車の運行事業を委託契約している社団法人シルバー人材センター職員、更には貸出利用団体7団体等による防犯パトロールを実施することで、明るい地域社会を構築することが必要である。					青色回転灯装備車（青パト1号車）に関しては、社団法人シルバー人材センター職員が市内全域を満遍なく巡回パトロールを実施している。また、青色回転灯装備車（青パト2号車）にあっても、貸出利用団体である7団体による地域内巡回パトロールを推進し防犯抑止活動を積極的に実施するなど効果的な運行を行っている。									
合計点数 (20点満点)	20点		評価全般・今後の方向性に関するコメント<理由、改善内容等>												
今後の方向性 (拡充、現状維持など)	現状維持		青色回転灯装備車による安全・安心まちづくり推進事業に関しては、市民が犯罪に遭遇しない安全で安心な生活環境を構築し目標を達成しているものとする。従って、市民が安全で安心した生活を営む社会環境構築のためには、今後とも継続的な青色回転灯装備車による安全・安心まちづくり推進事業が必要不可欠である。												

< 青色回転灯装備車両（青パト）写真 >



都内区市における青色防犯パトロール車運行状況

	自治体による 運行	防犯団体等 による運行		自治体による 運行	防犯団体等 による運行
千代田区	○		八王子市	○	○
中央区	○	○	立川市	○	○
港区	○	○	武蔵野市	○	
新宿区		○	三鷹市	○	○
文京区	○	○	青梅市	○	
台東区	○		府中市	○	○
墨田区	○	○	昭島市	○	○
江東区	○	○	調布市	○	○
品川区	○	○	町田市	○	○
目黒区	○	○	小金井市	○	○
大田区	○	○	小平市		
世田谷区	○	○	日野市	○	○
渋谷区		○	東村山市		○
中野区	○		国分寺市		
杉並区	○	○	国立市		
豊島区	○		福生市	○	
北区	○	○	狛江市	○	○
荒川区	○		東大和市	○	○
板橋区	○	○	清瀬市	○	○
練馬区	○	○	東久留米市	○	
足立区	○	○	武蔵村山市	○	
葛飾区	○	○	多摩市		○
江戸川区	○	○	稲城市	○	○
			羽村市	○	
			あきる野市	○	○
			西東京市	○	○

※ 大東京防犯ネットワーク資料より(各自治体取組一覧(安全・安心まちづくりの推進))